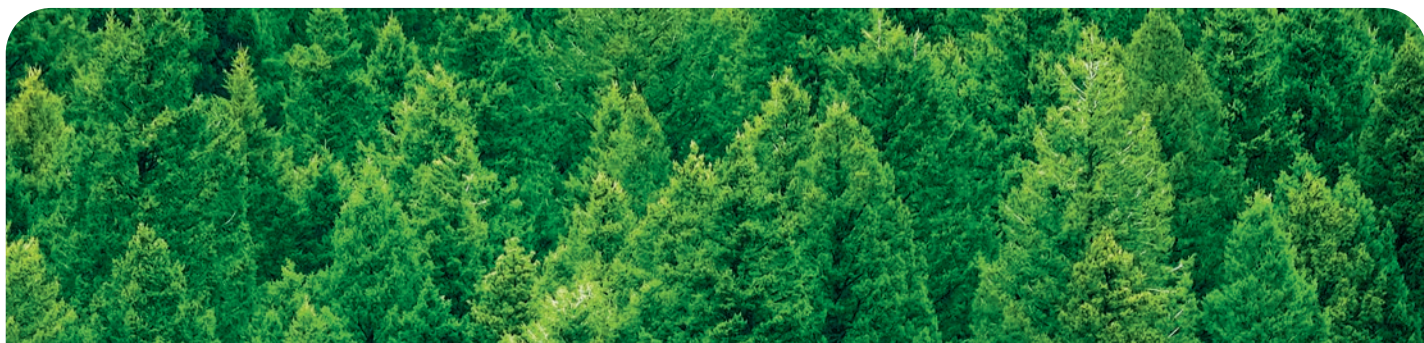


一般社団法人

木橋技術協会



田丸橋(愛媛県)



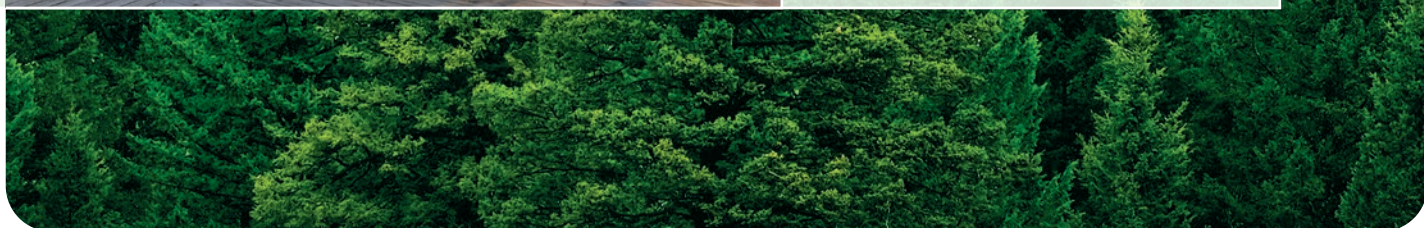
かりこぼうず橋(宮崎県)



鶴の舞橋(青森県)

- 木橋診断士の研修、試験、登録の実施
- 講習会開催などによる技術の普及
- 木橋に関する(設計・点検・補修)技術支援

Association of Wooden Bridge Engineer



会長挨拶

ごあいさつ

会 長 島 谷 学

木橋技術協会は、木橋技術の向上に取り組む企業や個人による団体で、設立されて以来木橋技術に関する情報の発信、「木橋点検マニュアル」や「木橋定期点検要領(案)」の発刊、「木橋診断士」の資格の認定等さまざまな活動を行ってまいりました。これからも木橋に関する専門の技術集団として社会に貢献していく所存ですので、皆様方のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



木橋技術協会とは

木橋技術協会は、1997年8月に発足し、その後2019年3月28日に一般社団法人化した木橋に関する技術の向上に取り組む企業、個人の会員で構成される団体です。

1987年建築基準法の改正以降、大断面集成材による大型木造建築物が作られるようになり、集成材による木橋の架設へと繋がっていきました。1994年には建設省と林野庁により道路整備に木材の活用を検討する「木の香る道作り研究会」、木橋技術基準検討委員会(委員長:三木千壽 東京工業大学教授(当時))が設置され、実際の設計・施工を通じ、木橋の設計基準を策定することを目的としたモデル木橋事業が進められました。

技術基準は(一財)国土技術研究センター「木歩道橋設計施工に関する技術資料」として発行。当時、これらの木橋技術を取りまとめる団体はなく、関係者の意見も纏まらず、建築物の延長で設計される木橋が多く、橋梁技術との整合性が問題となりがねない状況でした。そこで、木橋技術を取りまとめ、高める目的として、木橋メーカー13社により木橋技術協会が設立されました。

上述のモデル木橋の特性から、当初より点検と保守を意識した研究を進め、それらの知見を取りまとめて、1999年に「木橋点検マニュアル」を発刊。さらに、2009年「木橋点検マニュアル第2版」へと改訂されました。これらの動きは昨今の橋梁点検への取り組みと比較してもかなり早いものであり、2018年に日本林道協会と共同でとりまとめられた「木橋定期点検要領(案)」に発展しています。この要領は、「道路橋定期点検要領(2014年・国土交通省)」に準拠しつつ、木橋に関する情報を補足するもので、これにより木橋も一般の道路橋と同等の点検・診断ができるようになっています。

年 代	出 来 事
1994年	「木の香る道作り研究会」(建設省、林野庁)、木橋技術基準検討委員会設置
1997年	木橋技術協会 発足 モデル木橋事業 仙人橋・徐福橋(鹿児島県いちき串木野市) 竣工
1998年	モデル木橋事業 神馬の橋太郎(大分県竹田市) 竣工
1999年	「木橋点検マニュアル」発刊 モデル木橋事業 六根の橋(高知県橋原町) 竣工
2002年	モデル木橋事業 御幸橋(高知県橋原町) 竣工
2003年	「木歩道橋設計施工に関する技術資料」((一財)国土技術研究センター)発行
2004年	モデル木橋事業 いきいき橋(広島県尾道市) 竣工
2009年	「木橋点検マニュアル第2版」発行
2018年	「木橋定期点検要領(案)」(日本林道協会と共同編纂) 発刊
2019年	一般社団法人 木橋技術協会発足

入会のご案内

会員には1種(企業)会員と2種(個人)会員があります。

	1種会員(企業)	2種会員(個人)
総会への参加	可	可
年会費(10月~翌年9月)	50,000円/社	5,000円/人
特 典	木橋に関する講習会などの案内 1種会員社員の診断士登録料免除 1種会員社員の講習会費用割引	木橋に関する講習会などの案内
入会条件	1種会員2社以上の推薦があり 木橋に関する業務実績があること	木橋診断士であるか、または個人として 木橋に関する業務実績があること
入 会 金	50,000円/社	5,000円/人
そ の 他	協会への依頼業務の委託	技術委員会などへの参加

木橋診断士制度

木橋は、木材を主構造に持つ橋であるため、その点検・診断には橋梁点検と木材の双方の知識を持つ者が行う必要があります。木橋では、状況によっては鋼材やコンクリートよりも劣化しやすいため、その特徴が考慮されなければ誤った診断や対策がなされる可能性があるためです。

木橋技術協会では、木橋の適切な点検・診断を行える技術者を「木橋診断士」として認定しています。2021年より「木橋診断士」に加え「木橋・総合診断士」を新設しました。

「木橋診断士」は木橋に関する点検、診断、保全に関する能力を有し、新設の「木橋・総合診断士」は、木橋に加え鋼橋やコンクリート橋も含めた総合的な点検、診断、保全に関する能力を有する資格です。

木橋診断士は、年1回に開催される講習会を受講し、筆記テストに合格した方に授与されます。有効期間は4年です。

講習会・試験・受講資格については、当協会ホームページをご覧ください。



木橋診断士 運用について

■登録

認定された方には、登録証(カード)を交付し、有効期間内において有資格者として活動が行えます。

■更新

有効期間は4年間とし(有効期間は原則10月1日から4年後の9月30日とする)登録有効期間最終年度に更新申請を行うことにより継続することができます。更新方法は下表のAまたはBの2方法から選択することができます。要件内容を判定委員会で審査し、認定された者について更新登録を行います。

更新方法	要 件	備 考
A	更新講習会の参加+レポート提出	更新講習会は原則年1回開催
B	登録申請月の前月から遡って4年間でCPD100単位以上 当会主催、共催及び認定プログラムのCPD10単位を含む(必須)	CPD単位は別表参照 再登録または4年未満での更新の場合は 年間25単位以上とする

■失効

更新を行わなかった方は、登録有効期間満了をもって、資格は失効となり登録を抹消し、「木橋診断士」の称号を用いることはできません。

■再登録

登録が失効した方が再登録を希望する場合は、失効後2年未満の場合は前記「更新」に従い更新申請を行った場合再登録をすることができます。なお更新方法Bにて再登録した場合の再登録の有効期間は再登録日から4年以内の9月30日とします。再登録費用は更新費用と同額とします。

■教育形態によるCPD単位

教育形態	内 容	CPD単位	更新期間(4年)上限値	備 考
講習会、見学会等への参加	当会主催、共催及び認定プログラム	2/時間	なし	CPD証明書等の提出 講師、発表者は係数2.0
	当会以外の建設系CPD協議会構成 団体主催及び認定プログラム	1/時間	なし	CPD証明書等の提出 講師、発表者は係数2.0
業務経験	橋梁点検または診断業務	10/件	60	テクリス、契約書、業務 経歴証明書等の提出
	橋梁点検、診断の関する製品開発、 研究業務	20/件	60	論文、業務経歴証明書等 の提出
その他	関連学会、協議会等の委員会	1/時間	60	
	他の資格取得、更新	10/資格	40	指定資格*のみ 証明書、登録証提出
	自己学習、社内研修、社会貢献活動など	0.5/時間	10/年間かつ40	教育内容に関する資料提出

* 指定資格:「公共工事に関する品質確保に資する技術者資格」登録されているもの

〈木橋アドバイザーから一言〉

福岡大学 工学部 社会デザイン工学科 教授 渡 辺 浩

森林資源が豊かな日本では、古くから多くの木橋が架けられてきました。今では鋼橋やコンクリート橋がメインになりましたが、かといって木橋のメリット、つまり丈夫な橋が安く簡単に作れて、自給できる豊富な森林資源を活用できて、そして地球環境にも地域環境にも優しいというメリットが失われたわけではありません。耐久性は苦手ですが、上手に設計し、点検補修されれば十分な耐久性性能が発揮できます。これからも新しい可能性に挑戦していきましょう。



木橋に関する技術支援

木橋は鋼材やコンクリートとは異なる性質の材質のため、橋梁の知識、技術に加え木材に関する知識、技術がないと誤った設計、診断、補修を行うことがあります。

木橋技術協会では木橋に関する技術支援および受託で業務支援を行っています。

●木橋に関する「計画、設計」・「点検、診断」・「補修設計」・「補修工事」などご相談ください。



組織・会員

役員

会 長	島 谷 学 [(株)ラスコジャパン]
理 事	森 川 勝 仁 [(株)アーバンパイオニア設計]
理 事	谷 川 充 [(株)ザイエンス]
理 事	大 森 弘 一 朗 [ウィズガーデン(株)]

正会員(1種)

会 社 名	所 在 地	会 社 名	所 在 地
(株)アイベック	富山県 富山市	(株)コムテック	熊本県 熊本市
(株)アーバン設計	福島県 郡山市	(株)ザイエンス	東京都 千代田区
(株)アーバンパイオニア設計	大阪府 大阪市	日本空糸(株)	岩手県 一関市
ウィズガーデン(株)	東京都 杉並区	(株)太平設計	福岡県 北九州市
(株)エスティ設計	山梨県 甲州市	(株)フルテック	富山県 高岡市
(株)オリテック21	岩手県 盛岡市	山佐木材(株)	鹿児島県 肝付町
技建開発(株)	長野県 飯田市	(株)ラスコジャパン	兵庫県 三木市

木橋アドバイザー

植 野 芳 彦 (富山市役所 政策参与)	本 田 秀 行 (金沢工業大学)
佐々木 貴信 (北海道大学)	渡 辺 浩 (福岡大学)